

笑顔と元気あふれる 住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第159号



題字は岸信介先生書 2023年(令和5年)10月27日



たぶせの秋 岸辺のステージ (10月7日)

たぶせふるさと応援大使の松村邦洋さんと笑顔で記念撮影。

9月定例会	2P
7月臨時会	4P
委員会レポート(決算審査特別委員会)	5P
9人の議員が町政を問う	8P
議会だより158号を読んでの感想	17P
研修報告	18P



▲携帯で簡単に議会のホームページにアクセスできます

ホームページの「議会だより」は、表紙がカラーとなります。

4年度決算認定・5年度補正予算可決

9月定例会

一般会計2億3,843万円増額
庁舎1階会議室改修工事
7月豪雨に伴う災害復旧



本会議 (9月7日)

令和4年度町諸会計決算の概要

Table with 6 columns: 会計名, 歳入, 歳出, 形式収支, 翌年度に繰り越すべき財源, 実質収支. Rows include 一般会計, 国民健康保険, 特別会計 (下水道事業, 介護保険, 後期高齢者医療), 小計, and 合計.

※端数処理のため、合計が合わない場合があります。

令和5年9月定例会は9月7日から14日間の日程で開かれました。本定例会では、町長報告3件のほか町長提出議案の決算1件、補正予算2件、条例4件、人事1件及びその他1件並びに議員提出議案1件を審議しました。また、7日と8日の本会議では、9人の議員が一般質問に登壇しました。なお、記載のQ&A(質疑&答弁)は決算については決算審査特別委員会(P6)に、他の議案については付託した所管の常任委員会のQ&Aも含めて掲載しています。

町長報告

- 令和4年度基金運用状況
令和4年度決算に係る健全化判断比率
令和4年度決算に係る公営企業の資金不足比率

町長提出議案

令和4年度決算

一般会計

歳入総額は77億4193万円、歳出総額は75億2663万円。歳入から歳出を差し引いた形式収支は、2億1530万円の黒字で、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源4104万円を差し引いた実質収支は1億7426万円になりました。

特別会計

国民健康保険、下水道事業、介護保険及び後期高齢者医療4会計の歳入総額は46億3609万円、歳出総額は45億3009万円。

【全員賛成】

令和5年度補正予算

一般会計(第5号)

2億3843万円を増額補正し、予算総額は69億8504万円。

主な歳入補正

地方交付税

9307万円増

国庫支出金

1803万円増

土木施設災害復旧事業費など

繰越金

1億6426万円増

諸収入

2955万円減

スポーツセンター第1体育館大規模改修事業に伴うB&G財団助成金の皆減

町債

2850万円減

スポーツセンター第1体育館大規模改修事業に伴う保健体育施設整備事業債の皆減など

《主な歳出補正》

議会費

228万円増

《主な歳出補正》

議会費

228万円増

議会用タブレット端末の導入経費
 総務費 1億8719万円増

庁舎1階会議室改修工事費や法令に基づく繰越金の一部の財政基金への積み立てなど

・民生費 6893万円増
 療養給付費前年度精算負担金や児童クラブ運営費における前年度補助金返還金など

・衛生費 308万円増
 柳井地域広域水道事業の広域化に係る事務費負担金

・商工費 660万円増
 「のんびらんど・うまし」要害山登山道法面補修工事など

・土木費 950万円増
 町道補修事業費など

・消防費 1335万円増
 防災行政無線における発動発電機の更新経費など

・教育費 8424万円減
 スポーツセンター第1体育館大規模改修事業を今年度は見送ったため

・災害復旧費 2968万円増
 7月豪雨に伴う農林水

産施設災害復旧事業費及び公共土木施設災害復旧事業費

おもな質疑

Q のんびらんど・うましまの要害山の登山道は路肩が崩れたり、亀裂が入っていたりするため、計画的に整備して欲しい。また、木も生い茂っており景観も良くない。

A 今年の夏に現状を把握し、まずは入口を整備しようということになった。頂上までの道の整備については、機械が入るのが難しいため、県の事業の活用も視野に入れて検討したい。また、頂上からは、360度見渡すことができるように、11月に職員で木の伐採を行うことを考えている。



崩れた登山道の路肩(要害山)

Q 草刈り機を担いで頂上まで行くのは大変なため、登山道を登れる電動階段運搬車などの購入又は、車が通れる道の整備を検討してはどうか。

A 県の補助を有効活用できないか、検討したい。

Q 定井手(豆尾踏切)の工事は遅れ遅れだが、いつから始まるのか。

A これまでもJR西日本と随時協議を行っており、当初は11月から工事に入る予定だったが、年明けになると連絡があった。年度内には終わるようにお願している。

Q タブレット型端末の導入経費は、議員全員に関わることで、もつと説明してから予算化すべきだと思う。

A 近隣市町の議会が、タブレットの導入が進んでいるということがあるので、本町は来年の6月議会から開始するのが良いと考え、準備期間を考慮して予算化した。

Q TABUSE 3×3 TAIKO CUPは、大晃機械が経費の一部を負担され、大会の名前にも入っている。次もこういう企画をやったらスポンサーはつくか。

A 例えば「ロングライドのサイクリング」があるが、参加者が少ないため、スポンサーになって頂くのが難しい。



TABUSE 3×3 TAIKO CUP

Q 企画財政課の広報等の時間が増額されている。行事が増えているというのも分かるが、振替休日での対応はできないのか。振替で対応できないほど恒常的に忙しいのか。また、一定の職員に負担が偏っていないか。

A 振替休日は、できるだけ取らせるようにしている。

Q 町広報は厚く内容も充実しているが、ページが多いばかりでは読まない人も多い。経費もかかるため、費用対効果を考えて作っては。

A 見直しできるところがあれば、見直していきたい。

【全員賛成】

●特別会計

○介護保険(第1号)

前年度精算とそれに伴う介護給付費準備基金の調整で4070万円を増額し、総額は16億2045万円とするもの。

【全員賛成】

条 例

○避難行動要支援者名簿及び個別避難計画に関する条例

災害時における高齢者・障がい者等の避難行動要支援者の円滑な避難を図ることを目的として、避難行動要支援者名簿及び個別避難計画について、災害対策基本法に基づき必要規定を定めるもの。

おもな質疑

Q 精神障害や知的障害があり、避難所に一緒に避難するのが難しい人たちは、車中泊で避難できるようにするなども考えていく必要があると思う。車をキャンピングカーの形に改造すれば、キャンプにも使える。

A 避難支援等で、普通の方とは違った配慮をしなければならぬ方もおられる。それは個別の計画の中で検討す

Q 保健センターと西田布施公民館が福祉避難所に指定されているが、設備・装備が完備されているのか。

A 現段階では完備しているとはいえない。精査した上で、順次整備していく。

Q 障害者に対しては、防災士だけでなく、防災救助士を避難支援の中に加えていく必要があると思う。

A 現在、防災救助士については把握ができていない。条例ができれば、支援者対策検討会議で情報交換する中で、関心を持っておられる方がおられたら、協力をいただきたい。

Q 要支援者名簿の提供先に自治会が入っていない。

A 現支援者対策検討会議委員15名の中に田布施町自主防災組織として自治会連絡協議会に入ってもらう予定。

Q 情報守秘義務について、お互い何らかの情報を出し合うときに、協定を結ぶなどが必要なのではないか。

A 考えないといけない。

Q 上位計画の地域防災計画を検討することだが、いつできるのか。

A 現在作業中なので、もう

しばらくお待ちいただきました。

Q 災害別（台風・水害・高潮等）のタイムラインを作っておかないと、条例をつくっても動くことができないと思うが。

A 対策本部で、避難等のタイムラインは立てていく。

○会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
 会計年度任用職員の勤務1時間当たりの給与額及び報酬額が、山口県の地域別最低賃金を下回るなどの対応について、必要な規定を定めるもの。

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
 放課後児童健全育成事業の実施に係る国の通知の一部改正に伴い、放課後児童支援員認定資格研修の受講期限にかかる要件緩和を行うもの。

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める

条例の一部改正

就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部が改正されたことによるもの。

【全員賛成】

人事

○教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、引き続き三輪道代氏を任命することに同意するもの。
 （任期は10月1日から4年間）

その他

○字の区域の変更

国営南周防土地改良事業「瀬戸換地区」の換地区分に伴う字の区域の変更。

【全員賛成】

・臨時議会・

7月18日

予算1件の町長提出議案を審議しました。

令和5年度補正予算

●一般会計（第4号）

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用し、町独自の物価高騰対策として、「生活応援商品券2023配布事業」及び「小・中学校給食費物価高騰差額補助事業」に係る経費並びに町税過誤納還付金の補正で、9058万円を増額し、総額を67億4661万円とするもの。

Q 5000円分の商品券を町内で使うのに、タクシーで往復すれば、3000円あまりかかる所もある。現金支給にはできなかったのか。

A 現金給付は、かなりメリットがあると思うが、国が認められない。

【全員賛成】

議会を傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

【問合せ先】
 議会事務局

☎52-5800

12月定例会の日程（予定）

11日	本会議（初日）
12日	本会議（2日目）
13日	経済厚生委員会
15日	総務文教委員会
19日	本会議（最終日）

※一般質問は11日、12日に行う予定です。日程の変更は、町HPでお知らせします。

※いずれも午前9時から
 ※正式には12月5日の議会運営委員会で決定されますので、ご確認下さい。

決算審査特別委員会

令和4年度決算



決算審査特別委員会(9月11日)

新型コロナウイルス地域支援対策費(町独自事業) 2億4,868万円
城南住宅建替事業 2億4,198万円

「令和4年度田布施町歳入歳出決算の認定」については決算審査特別委員会を設置して9月11日に委員会を開き、慎重に審査した結果、全員賛成で認定されました。

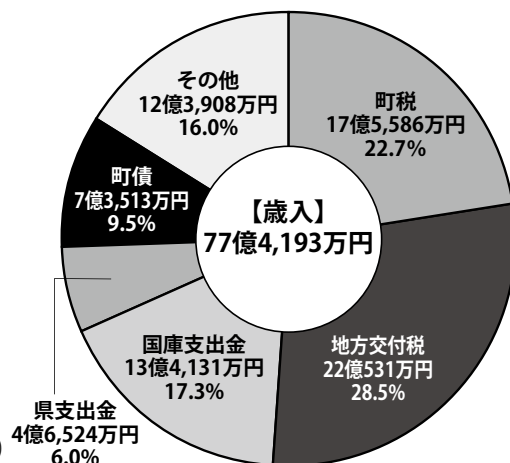
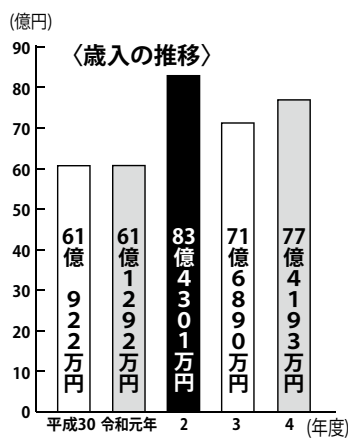
令和4年度田布施町一般会計決算の概要

歳入

町税の徴収率は98.4%で、前年度比0.7ポイント上昇。不納欠損額は541万円。収入未済額は2,289万8千円で、前年度比で969万6千円減少した。

税外収入は、収入済額59億8,606万7千円と、前年度比5億5,688万円増加した。これは、町債が5億4,813万3千円増加したことが主な要因である。

(監査委員による審査意見書より)

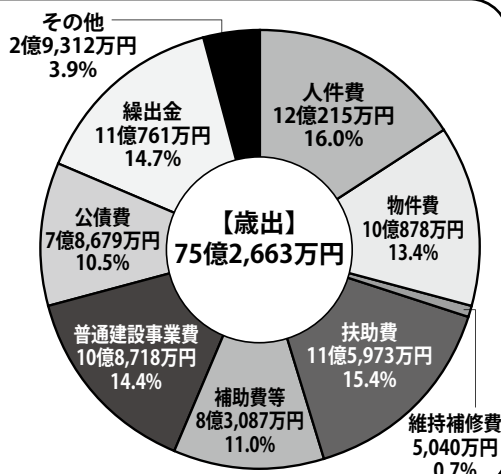
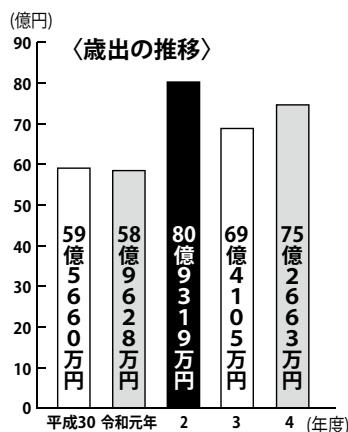


歳出

支出済額は75億2,663万円で、前年度に比べ8.4%増加している。

地域応援商品券事業等による物件費の増、城南住宅建替事業や保健センター整備事業に係る普通建設事業費の増、また、利子償還金低減のための借換えに伴う公債費の増が主な増額理由である。

(監査委員による審査意見書より)



財政構造の弾力化

- (1) 経常収支比率 94.1% (6.6ポイント上昇)
- (2) 実質公債費比率 10.4% (0.1ポイント改善)

基金・地方債現在高

- (1) 基金現在高 20億9,338万円 (5,155万円減少)
- (2) 地方債現在高 95億6,363万円 (1億4,118万円減少)

おもな質疑 Q&A

一般会計

歳出

◇人件費・議会費・総務費

◎時間外勤務手当

Q 時間外勤務手当が多い部署がある。基本的に人員が足りないのでは。職員の健康面が気になる。

A 毎月の報告をしっかりと精査し、各課長とも改善できるか繰り返し、全体の人数のバランスを取り対応している。

◎ふるさと寄附金

4121万円

Q 田布施町民が他の自治体へ寄附したため税収が減った控除額はいくらか。

A 約1630万円だが、減収補填で75%交付税で措置される。

Q 経費など差し引いた手元に残る金額はいくらか。
A ふるさと寄附金が4121

万円。返礼品・運営費・システム保守委託料等経費が2185万円。住民税税額控除額が1634万円。寄附金実質収支額は302万円。

Q 返礼品、寄附額が高く送料のあまりかからない商品の開発を進めるべき。

A 昨年の決算でも提案いただき取り組んでいる。今年6月総務省より改定があり、経費率が5割を超えてはならないと厳格化され、まずは返礼品の金額を1、2割上げて、急いで経費率の改善を図る。

◎訴訟委託料

84万円

Q 具体的にどういった内容か。
A 固定資産税の返還請求に関する訴訟。弁護士費用は一回ごとに請求があがってきて、年トータル110万円を上限とする契約。

◎イントラネットシステム

6110万円

Q 広域の広島山口の公共施設予約システムは使いにくく、システム利用率が0.03%に表れているのではないか。独自の使いやすいシステムを構築すべきでは。

A 公共施設の予約は、以前は独自にLGWANの庁内LANを使っていたが、コストが

非常に割高であり、現在、広島山口の公共施設予約システムを使っている。改善点などを検討していく。

◇民生費

◎敬老イベント事業

278万円

Q 今まで各地区ごとに大掛かりでやっていたが、小規模で高齢者が参加しやすいイベントを実施。以前の大掛かりのときと費用的な差はあるか。
A 事業ベースでは双方概ね近い数字となっている。

Q 小規模でといってもコミュニケーションによっては大規模な所から細かく分かれても成り立つところもある。大規模でないといけないところは、イベントの人数制限があり実施できない。見直しは。

A 参加人数は、ケースバイケースで対応したい。



敬老イベント(川西)

◎民生委員協議会

573万円

Q 民生委員の相談及び指導件数のうち、令和3年と比べてかなり少なくなっているが、何故か。
A 民生委員さんが替わられ、計上の仕方が変わったため、協議会へ計上の条件を整えるようお願いした。

◇衛生費

◎感染症対策事業

◎具体的事業内容は。

97万円

A 結核健診。
◎がん検診事業

1237万円

Q 健康増進計画のアンケートで、受診しない理由として受診する時間がないがトップだった。対応は。

A 町外の医療機関で、土曜日や夜間などの時間外受診もできるようになった。町内の医療機関では行わず、土曜日に日にちを決めて行っている。

◇農林水産業費

◎森林国営保険

14万円

Q 森林共済セット保険とは。
A 町有林で植林して価値のあるものに、土砂災害などに備えるための保険。

◎農地転用

◎農地転用

Q 太陽光発電関連の農地転用申請の件数と面積は。
A 11件、1万6497㎡。



太陽光発電設備

◇商工費

◎(財)周南地域地場産業振興センター管理費負担金

113万円

Q 周南地域地場産業振興センター主催で、東京のおいでませ山口館でPRを行ったが、反響はどうだったか。
A 3市1町で参加したが、田布施からのイチジクを待っておられる方が多かった。また、外郎も好反響だった。



販売した3市1町の特産品



生活バス路線(柳井駅～徳山駅)

◎のんびらんど・うましま 修繕料

526万円

Q のんびらんど・うましまは、竣工より30年以上経過。老朽化により今後大改修が必要では。

A 4年度ある程度かけ、修繕してきたが、まだまだ修繕が必要などころが多くある。できるだけ早い段階で修繕していきたい。

◎生活バス路線対策事業

400万円

Q 現在、地域公共交通計画を策定中だが、生活バス路線対策事業も視野に検討されているか。

A 現在ヒアリングが終わって、これから検討に入る。

◎空家バンク制度

Q 現在の状況と売買物件も扱えるようにならないか。

A 現在14件成立し、登録は2件。売買もできるような年度を視野に検討。

◆土木費・災害復旧費

◎住宅事業

Q 下田布施第1住宅と下田布施第2住宅の建て替えの時期は。

A 今後2住宅を統合する計画だが、時期は決まっていない。

◆消防費

◎自主防災組織

14万円

Q 5地区すべてに自主防災組織ができ、災害弱者の方の避難もあり、直ぐ動ける体制支援をお願いしたい。

A 災害対策基本法では、5年以内に整えるようになっていくが、早めに対応できるようにしたい。

◆教育費

◎学校給食センター調理等業務委託費

3741万円

Q 広島島の給食業者が、食料や水道光熱費の高騰により民事再生法申請した。田布施町は大丈夫か。

A 委託先の日米クックとは、調理と配送業務の人員費が主で、食材や水道光熱費の物価高騰の影響は軽微と思われる。

◎町奨学基金(基金残高)

5537万円

Q 貸付金受給者がゼロのまま。できるだけ多くの学生が利用し、将来地元へ帰れば減免するなどの制度等をつくり、ふるさと寄附金を基金に繰り入れることはできないか。

A 現在の基金制度では財源確保が難しい。今後関係部局とも検討していく。

◆社会教育費

◎田布施町史編纂事業

405万円

Q 資料の読み込み及び原稿

執筆に遅れが生じたところがある、何が原因か。

A 前年度の執筆者の変更と資料整理の遅れが影響した。

◎郷土館事業

56万円

Q 令和4年度来館者数は、440人。PRするためホームページを充実し、企画展など情報発信して欲しい。

A 展示スペースなど制限があり、今後の検討課題であるが、企画展など工夫していきたい。



大波野字納蔵の古墳展(R5.7.11～8.6)

特別会計

◆国民健康保険 ◎特定健診審査委託料

876万円

Q 受診率はどのぐらいか。

A 除外対象者がいるため、確定ではないが、33%ぐらい。

◎特定健診受診率向上対策事業委託料

353万円

Q 具体的にはどういったことをしているのか。

A 令和3年度までは、自前で受診推奨のハガキを送っていたが、4年度より委託し、AIやマーケティング手法を活用した受診推奨を行い、受診率アップにつながっている。

◆介護保険 ◎保険給付費

13億6187万円

Q 当初予算より3723万円減額となった。この要因は何か。

A 新型コロナウイルスの影響で、介護の利用日が減ったため。ここ2、3年は、月により増減にばらつきがあり、安定するまでもう少しかかると思われる。



9月定例会
一般質問

9人の議員が町政の課題を問う

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いただすものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

戦争体験談

小・中学校でもっとできないか

河内 賀寿

支援したい

鳥枝教育長



河内 賀寿 議員

Q今年も終戦の日前後は戦争の特集がテレビ放送された。戦争体験者は、自分が生きていくうちに、若い人達にありのままの事実を伝えておきたいんだなと強く感じた。本町にもたくさんおられるはず。若い人との交流も大事。戦争体験談、小学校や中学校でもっとできないか。

A戦争体験者や遺族の方々の高齢化が進む中、体験や記憶を次世代にどう受け継ぐかは大きな課題。平和学習を進めるに当たり、具体的に多様な体験や活動を取り入れることにより、子どもたちが命の尊さと平和の大切さを実感することができるよう、学校の教育活動を支援したい。



子ども達に戦争話をする様子

こども議会

できないか

河内

対応したい

東 町長

Q夏休みのニュースでよく放送されたのがこども議会。地域の議事堂を使用して、小学生が活発な意見を出していた。本町もかつて小学生と中学生のこども議会が開かれたことがある。若い人の政治離れや投票率の低さを解消する一つの方法になるかも。準備は大変でも、こども議会できないか。

A本町も平成11年に小学生、12年に中学生のこども議会を開催。自分たちの質問や意見が町政に反映される機会を体験し、まちづくりへの関心を持つ貴重な場と考える。授業の一環として大変な準備なく、年何回か学校のカリキュラム等にあわせて、申し出があれば町として対応したい。



中学生のこども議会(平成12年)

少子化問題

小学校の統廃合をするのか

西本 篤史

統廃合は考えていない

鳥枝教育長



西本 篤史 議員

Q町の出生数は年間70人前後である。町は平成20年教育委員会において、小学校学校適正化委員会が行われ、北部と南部の2校案が報告された。光市の「やまと学園」構想では4校を1校に統合する。今後、町は学校再編を行うのか。以前行った学校適正化委員会の2校案は有効か。

A地域と連携した教育を推進するため、当面、学校の統廃合はない。現在の4小学校・1中学校をできる限り存続する。2校案は、「学校施設耐震化推進計画」を踏まえ、それぞれの学校施設の改築及び改修を最優先に取り組んだ。適正配置等については、改めて検討していく。



新築された麻郷小学校

地方創生戦略会議

デジタル田園都市国家構想の取組とは

西本

デジタル活用を検討する 東 町長

Q地方創生検討委員会でデジタル田園都市国家構想戦略について説明があり、デジタルの力を活用して不便、不安、不利を解消し、地方創生を加速化・深化し全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す。構想の実現に向けた取組とは。デジタル田園都市国家構想交付金とは。

Aデジタル技術を活用した各種施策を効果的に実施するため、「田布施町DX推進方針」に基づき3つの基本方針を掲げ19個別施策について、取り組む。デジタル田園都市国家構想交付金は、「地方創生推進交付金」や「地方創生拠点整備交付金」、「デジタル田園都市国家構想推進交付金」。

上関中間貯蔵施設

町長の考えはどうか

西本

「まちづくり」に影響

町長

Q上関町が計画する、原子力発電所の使用済み核燃料一時保管中間貯蔵施設の立地可能性調査に受入れを表明した。①近隣の首長もコメントを表明しているが町長の考えは。②住民に説明の無いままの行政報告をどう思うのか。③今後電力会社の中間貯蔵施設の説明を求めるのか。

A①結論ありきで進むのではなく周辺市町の住民に対して十分な説明責任を果たす必要がある。建設されれば「まちづくり」に大きな影響がある。②私は率直に順番が逆という感じを強くもっている。③周辺市町の住民にも寄り添った丁寧な対応を国や電力会社に強く求めていきたい。



デジタル田園都市国家構想総合戦略の概要(出典:内閣官房HP)

上関中間貯蔵施設

メリット・デメリットは

高月 義夫

移住・定住に影響

東 町長



高月 義夫 議員

する。施設が仮に出来たとすれば、イメージ低下は少なからず避けられない。この施設についての本町のメリットは、現時点では無いと思う。

Q 中国電力からの、使用済核燃料中間貯蔵施設建設の意向に、西上関町長は、立地可能性調査の受け入れを表明。核の性質上、上関町だけでなく周辺市町へも多大な影響が出るものと考えられる。建設になった場合、町には、どのようなメリット、デメリットが考えられるか。

A 中間貯蔵施設が建設されれば、田布施町のみならず周辺地域も進めている「まちづくり」や「移住・定住」にも大きな影響を与えるものと危惧

新型コロナワクチン接種

危険性の周知を

高月

周辺市町の取扱い等判断

町長

Q 新型コロナワクチン接種が、全世代で再開。8月31日現在、厚生労働省認定の新型コロナワクチン接種健康被害認定件数4098件、死亡者は210名に及ぶ。新型コロナウィルスワクチン接種は、あくまで自己責任で接種となっており、重篤化や死亡のリスクもあるという事を周知するべき。

A 予防接種には副反応を伴うため、接種の案内送付の際、接種券と共に副反応等の事を記載する説明書等を同封、電話相談も個別対応し周知に努めている。ご指摘の健康被害認定の状況などの告知は、周辺市町の取扱い等々も判断して、なるべく早めに対応するようにしたいと思う。

町DX推進方針

状況と今後は

高月

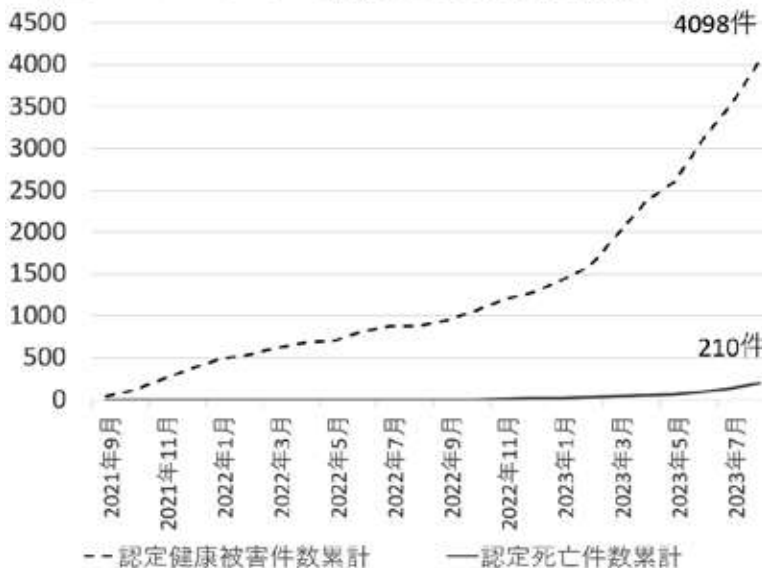
状況を議会へ報告する

町長

Q 昨年町DX推進方針を策定。この方針に基づきDX化を進められているが、①今年度中に達成できるもの②BPRの取組の推進で書面・押印・対面の見直し③ペーパーレス化の取組む意義と進捗は④住民や自治会が利用できる地域のDX化の想定は⑤更にデジタル・デバイドの対策は。

A ①標準仕様に準拠したシステムへの移行を進め、今定例会の全員協議会で報告②書類の9割の押印や署名の廃止。③ペーパーレス化はコスト削減効果がある。公文書はデータ保存を推奨。④自治会皆様の総意で検討⑤移動型スマホ教室やリモートでのスマホ使用方相談サービスを提供。

新型コロナワクチン接種認定健康被害件数の累計



厚生労働省疾病・被害認定審査会感染症・予防接種審査分科会発表を集計

税と社会保障費

住民の負担率を問う

松田 規久夫

コロナの影響は感じられない

東 町長



松田 規久夫 議員

Q標準世帯をモデルに20年近く、税と社会保障費負担率の質問が続いている。従来同様の試算条件で、住民の負担率を尋ねる。高齢化が進む現在、75歳の高齢者一人世帯では、来年の条件は現状に合わせて、共稼ぎ世帯とする変更も併せて尋ねる。

A40歳代(夫婦と子ども2人)世帯で、国民健康保険加入の給与所得者、固定資産税は償却資産を除いた平均税額で算出。75歳の高齢者一人世帯は年金収入が110万円で4.0%、200万円で10.3%。

標準世帯モデルケース

年度	年収	300万円	500万円	700万円
2007(H19)		25.4%	22.9%	22.9%
2013(H25)		27.7%	24.4%	23.9%
2018(H30)		27.6%	25.0%	24.5%
2023(R5)		26.8%	24.2%	23.8%

年収別町民負担率(参考)

75歳の高齢者1人世帯

年度	年収	110万円	200万円
2021(R3)		4.0%	10.3%
2023(R5)		4.0%	10.3%

年収別町民負担率(参考)

モデルケースは海外諸国と比較の際に採用しているもので、これを例に概算額を算出した。

申請主義の行政サービス

プッシュ式にできないか

松田

実現に向け検討していく

町長

Q行政サービスは申請主義で、住民から申請があり事務処理が始まる。デジタル化を地方から、マイナンバーを国に先駆け利用しよう。マイナンバーを活用すれば手続きが省略でき、申請漏れによる不給付を防ぐなど、デジタル化の情報で申請主義からの脱却が可能では。

Aマイナンバーを活用するプッシュ型の給付は、特定公的給付の制度を活用すれば迅速な給付が可能になる。町が国へ特定公的給付の指定を受け、住民の「公金受取口座情報」を取得することで、プッシュ型給付の実現につながられる。今後の検討課題。

小学校、幼稚園・保育園の統合

グランドデザインは 松田

当面はこれまでどおり 町長 鳥枝教育長

Q望ましい小学校数は2校と10年前示されていた。学校と公民館は地域の核であり、住民と保護者が望めば財政が許す限り存続するのがベターな選択だろう。10年後の出生数は50人程度と予想される。小学校、幼稚園・保育園統合のグランドデザインは描かれているか。

A小規模小学校のメリットを最大限に生かし、教育の質向上と魅力ある学校づくりのため、ICT環境を有効に活用した遠隔教育を推進する。将来構想の策定等は検討。町立保育園は当面これまでどおり。幼稚園の将来的な運営方針等は踏み込む立場にない。



今年度改修予定の役場1階窓口

災害避難

災害弱者への避難支援を

國本 悦郎

個別避難計画は未着手
介助体験や疑似体験を実施

東 町長
鳥枝 教育長



國本 悦郎 議員

令和元年台風19号等の近年の災害においても、多くの高齢者や障害者等の方々が被害に遭われている状況を踏まえ、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするためには個別避難計画の作成が有効とされたことから、令和3年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者について、個別避難計画を作成することが市町村の努力義務とされました。

内閣府 防災情報のページより

Q ①名簿と個別避難計画の作成の進捗状況は②町では個別避難計画は誰が作成するのか③地区別に支援関係者の応募と計画作成への周知活動は④災害弱者支援マニュアルの作成と町民の周知は⑤防災介助士の資格者の補助を⑥災害弱者に特化した避難訓練を⑦学校でのバリアフリー学習は。

A ①未着手で、今議会に条例案を提出②個別避難計画作成の優先度等により3つのパターンで作成③10月頃発足の対策会議で協議し、避難支援等関係団体毎に説明④支援マニュアルは未作成⑤他の市町の実施状況を見て検討⑥可能な範囲で避難訓練等に参加⑦介助体験や疑似体験を実施。

上関中間貯蔵施設

周辺市町に説明の無い調査の受け入れは 國本

周辺自治体にも深刻な問題 町長

Q ①地元住民だけでなく、周辺市町への詳細な説明もなく、拙速とも思える上関町長の受け入れ表明に対して率直な思いは②中間貯蔵施設から最短12kmに位置しており、町民の安全・安心の立場から責任ある態度表明を③原子力の利用にも触れて将来の持続可能なエネルギー選択は。

A ①結論ありきではなく、周辺自治体にとっても、そこに住む方々にとっても深刻な問題②柳井広域または熊毛郡2町が連携して何らかの意思表示③持続可能なエネルギー供給は、基本、国と電力会社の責任で、火力や水力、原子力、再生可能エネルギー等による「エネルギー・ミックス」。

埋蔵文化財(歴史遺産)の保存と活用

観光資源として活用したまちづくりを 國本

案内看板の修復や設置箇所の見直し 教育長
田んぼアートの発信と田布施検定 町長

Q ①古墳の案内板を適切な場所に②埋蔵文化財に特化したパンフレットとルートマップの発行を③観光協会は観光資源として埋蔵文化財の活用を④各学校で埋蔵文化財の学ぶ場は⑤郷土館に学芸員の配置を⑥ウオーキング大会で古墳巡りを⑦地域の協力を得て、アマチュア研究者の育成を。

A ①案内看板の修復や設置箇所を見直す②最新のコースマップやモデルコースを作成中③古代米アートの発信と田布施検定の実施を検討④郷土読本を活用して学習する他、現地見学も⑤埋蔵文化財に長けた郷土館長で当面对応⑥魅力



古代米アートの奥には後井古墳

再発見ウォーキングで実施⑦地元地域の協力が不可欠。

スポーツ活動の充実・強化

B&G財団との連携強化を

内山 昌晃

連携強化に努める

東 町長
鳥枝 教育長



内山 昌晃 議員

他施設整備や支援事業を調査研究④情報提供や助言をいただいている。今後も連携し活動の充実に取り組む⑤検討する。

Q 今年度、本町職員をB&Gインストラクター養成研修に1名派遣、計2名となる。指導体制が充実したことから、財団との連携を強化し、スポーツ活動を充実・拡大しては。①指導者会の現状と今後②スポーツ活動の現状と今後③補助金活用は④周防大島町との連携⑤財団への本町職員出向。

A ①指導者会の活動は停滞、県連絡協議会と連携し取り組む②運営体制を強化しマリンスポーツ等の充実に努める③体育館補修工事を申請中、その



カヌー教室(田布施川)

やまぐちアウトドアツーリズム

豊かな自然を活かしては

内 山

今年度の採択結果を踏まえ検討

町 長



海岸清掃(麻里府地区)

山口ならではの「アウトドアツーリズム」の創出について

本県の強みである豊かな自然を最大限活かし、アウトドアに注目した新たなツーリズムの推進→新たな人の流れを生み出し、地域経済の持続的な発展を促進

- 1 体験コンテンツの開発
山口ならではの特別な体験創出支援事業(キラーコンテンツの開発支援)

補助対象者	観光関係団体、民間事業者
補助上限額	1億円
補助率	補助対象経費の3/4以内
対象事業	本県の豊かな自然を活かした独創的で付加価値の高いアウトドア施設の整備や体験コンテンツの開発

- 2 プロモーションの展開
キックオフイベントの開催
○山口きらら博記念公園で10月開催
アウトドア体験の利用促進キャンペーンの実施
○アウトドア体験コンテンツ等の利用料割引
大規模イベントの誘致
○山口きらら博記念公園へアウトドアイベント等を誘致

- 3 推進体制の構築
やまぐちアウトドアツーリズム創出会議
○官民連携による全县を挙げた推進体制を構築(令和5年6月16日設立総会)

山口県HPより

Q 豊かな自然を最大限活かしたアウトドアに注目した新たなツーリズムを強力に推進するため「やまぐちアウトドアツーリズム創出会議」が設立された。のんびらんど・うましは、水の確保をはじめ、開発の余地が多々ある。来年度の補助金申請に向け関係機関と協議できないか。

A 豊かな自然を活かした独創的で付加価値の高いアウトドア施設の整備や体験コンテンツの開発が対象事業。補助上限1億円、補助率3/4、採択件数2、3件。今年度の募集は終了。9月以降、採択事業者が公表される。ハードルの高い事業だが採択結果を踏まえ関係機関と協議検討する。

利便性向上と駅活性化

駅周辺へ駐車場確保を

神田 栄治

ニーズを勘案し検討

東 町長



神田 栄治 議員

北側に町有地があるが、駅利用者減少中、駅周辺には商業施設もないので、駐車場のニーズを勘案し検討したい。高速バスの代替案などの働きかけはしていないが、柳井広域圏で協議したい。

Q 昨年4月から田布施駅が無人化された。1日平均乗車人数も千人を切った。田布施広島間の高速バスも今年3月から廃止となった。利便性向上と地域公共交通機関の活性化のため、駅周辺へ駐車場の確保が必要では。また、田布施広島間の高速バスの代替案の働きかけの状況は。

A 駅の東には月極の町営駐車場がある。誰でも使用でき駐車場の候補地は、給食センター



町営月極駐車場(約6割契約)

未婚率を下げる

婚活イベントの充実・強化を

神田

連携強化に努める

町長

Q 少子化の原因として、①夫婦1組の出生数の低下②未婚化の進展③晩婚化の進展があげられる。町では、婚活イベントを開催しているが、開催の頻度、カップルの成立数などの現状や成果及び課題は何か。また、今後の開催についてどのような見解をお持ちかお尋ねする。

A 1市4町の広域圏で、平成26年度から年2回(以前は3回)開催している。最近は、参加者の減少が課題であり、イベントの開催を、業者へ委託。委託業者をプロポーザル方式で選定するなど工夫を凝らしている。広域として、人口減少の抑制に繋がるようなイベントを考えていきたい。



サザンセットマッチングイベントのチラシ

実効性の高い予算編成

機構改革を

神田

新設は難しい

町長

Q 政策的な事業の選択と集中をどのようにし、新年度予算の編成方針とされるのか。予算編成にあたり、機構改革を提案したい。最近の政策は、関係課が複数にわたり、関連事業間の調整も必要。重要課題への政策の企画立案のため、他市町の政策を調査研究する部署の新設はできないか。

A 予算編成方針(重点施策)は、複数のステップを経て作成するので、現時点では未定だが、子育てに優しい町づくり、人口減少対策、デジタルインフラの構築、公共施設の整備などを考えている。重要課題について、企画立案・調査等を行う部署の新設は、当町の職員数では難しい。



町営波野団地住宅



瀬石 公夫 議員

入居保証人を廃止しては

瀬石 公夫

町営住宅

今後、検討していく 東 町長

Q 国交省の通達では、保証人を確保できないために入居できない事態が生じないように、保証人の確保を入居の前提から転換すべきとしている。また、民法改正により保証人の極度額(限度額)の設定が必要となったことで、住宅に困窮する者への住宅提供の目的から、保証人を廃止しては。

A 本町の保証人は2名で、要件は、「町内に住所を有する者又は3親等以内の親族であること」等である。民法改正による本町の保証人の極度額は、入居時の家賃の18月分である。改正前の保証人は新たに極度額を設定できる。保証人については、今後、県内の状況を考慮しながら検討する。

ヤングケアラー

対応・支援していくのか

瀬石

アンケートなどにより支援につなげる

町長

鳥枝教育長

？ ヤングケアラーって？

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担当と想定されているような家事や家族の世話を日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼い子どもの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の見えない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など難性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



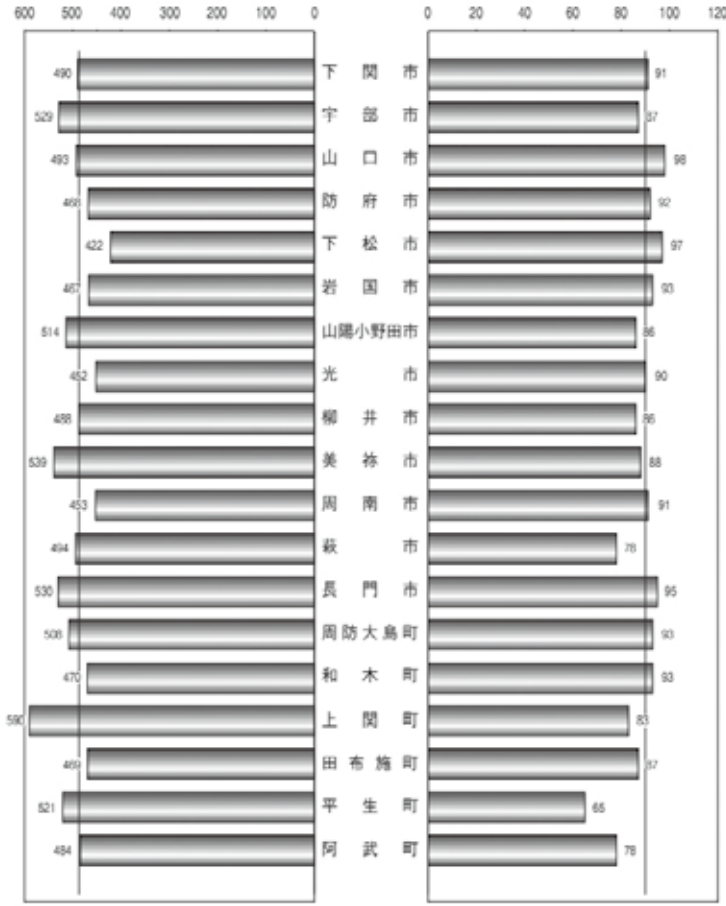
障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

ヤングケアラーについて (出典:こども家庭庁HP)

Q ヤングケアラー問題が深刻化している。全国の中学生で「世話をしている家族がいる」と答えたのは5.7%で17人に1人。1クラスに2人以上のケアラーがいる。世話の頻度を「ほぼ毎日」と答えたのは45.1%で、学校生活に悪影響をあたえている。どのように、対応し支援していくか。

A 本県では小学校から高校を対象に「山口県ヤングケアラー実態調査」が実施され12%が、世話をしている家族がいると回答。本町は県より若干少ない割合であった。学校においては、毎週1回「生活に関するアンケート」を実施したり、個別の教育相談を行い必要な支援につなげる。

1人当たり療養諸費（医療費）と1人当たり保険料（税）
療養諸費（医療費） 保険料（税）調定額
単位：千円



県市町平均1人当たり487,054円

保険料（税）設定額
県市町平均1人当たり90,755円

出典：山口県 令和3年度 国民健康保険事業状況



落合 祥二 議員

国民健康保険税 引き下げないか

落合 祥二

被保険者の負担を抑える 東 町長

Q 国保税は、協会けんぽや組合健保などの保険と比べ高いと言われる。そこで尋ねる。

① 本町の国保1人当たりにかかる医療費はいくらか。

② 本町の国保税は県内で高い方か安い方か。

A ① 令和4年度は約47万円で、県内19市町のうち6番目に低く、額も県内平均よりも約1万8千円低い。

② 所得割率は低い方から6番目。均等割額、平等割額はそれぞれ低い方から、8番目となっている。

③ 基金の活用により被保険者の負担を抑える。

④ 本町の国保基金保有額は、国保収入の7割。基金を使って国保税を引き下げないか。

買い物弱者対策

弱者の視点で

落 合

庁内で話し合って検討 町 長

買い物弱者問題に対する取組みには、①家まで商品を届ける、②近くにお店を作る、③家から出かけやすくする、といった取組みのほか、④コミュニティ形成や、基盤となる⑤物流の改善・効率化の取組みがある



出典：経済産業省「買い物弱者応援マニュアル」

Q 移動手段がないなどの理由で食料品の購入や飲食に不便や苦労を感じる買い物弱者が増えている。そこで尋ねる。

① 現在、実施している事業は。

② 地方公共交通計画と合わせて買い物弱者対策を構築すべきと思う。計画の進捗状況は。

③ 国のマニュアルを参考に、買い物弱者の視点での検討は。



移動販売(岸田団地)

予定している。それらの結果を踏まえ、今年度中に本町に見合った計画を策定する。

③ 言われるように庁内で話し合っ

A ① 買い物送迎サービスや移動販売の誘致を行っている。

② 町民アンケート、関係機関のヒアリング等を実施した。今後、地域別に意見交換会を

議会だより158号を読んで

◆お礼◆
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙の中にもかかわらず、
毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

◇大きな木を残す意味

鶴谷 純一

今年の梅雨時期は、美祿市をはじめとする山口県中西部や九州北部や北陸、そして秋田県などで記録的な大雨により河川が氾濫して、住宅への床上・床下浸水や土砂災害の甚大な被害が相次いで起こっている、6月に開催された田布施ほうさいフェスタ2023は、体育館にテントや段ボールベッドを組み立てたりといざという時の備えになると思っているので、とても大切な取り組みだと思いました。

◇読みやすさとは

田中 清美

久しぶりに一般質問を入念に読みました。新語や略語に出会い、その意味や読み方を夫に聞いたり、携帯で調べては本文に戻るなどして中断を余儀なくされ、正直ストレスを感じてしまい、そこで、日頃それほどストレスを感じさせない新聞との違いを調べてみました。新聞では新語や略語の直後にカッコ書きで意味や読み方がつけてあります。詳しい意味は、特別にコラムを設けて分かりやすい言葉で解説してありました。紙面の都合もあるでしょうが、私のような者にも読みやすく、分かりやすい紙面となる為にも参考にしたい所です。

◇町民に寄り添う対応を

植松 かおり

今回の議会だよりを読んで衝撃を受けたことが一つ。一つ目は、「いつも笑顔で明るく元気よく丁寧に対応」という役場の職員像と、実際に私が訪れた時に受ける印象が大きく違うこと。あまりに淡々と事務的で残念です。まずは来庁者に笑顔で挨拶から始めてみてはいかがでしょうか？

◇議会だよりは難しいよ！

坂本 洋子

とにかく難しい内容が多く、読むのも大変だったです。理解は、ほとんど出来てないです。興味があつた記事を書き出してみた。

◇コンパクトシティーに向けて

平田 満雄

買い物送迎サービス事業について、送りの便を2便に増便した結果、利用者が増加したとのこと。田布施町の場合、中央南と砂田周辺にスーパー、ドラッグストア、ホームセンター、交流館が集中しており、買い物に非常に便利な立地になっています。また、中央南には図書館があり、役場も買い物送迎ワゴンの経由地点である高齢者いきいき館前から徒歩圏内です。さらに、歯医者も3か所ありますが、残念ながら内科が町役場と駅の中ほどに1か所あるものの、中心部からは少し離れています。

今回も、モニターを引き受けて、新語や略語などを私自身の意味不明のまま聞き流したり読み飛ばしたりしていたようで、勉強不足の高齢者になってしまったことを痛感させられました。

二つ目は、馬島から通学する小学生がスクールバスを50分も待つという現実。保護者が付き添えば良いといつても、親には渡船料の補助もないとのこと。家の都合で付き添いが難しいこともあるでしょう。一人で待つのかと思うと、あまりに可哀想。行きは50分待ちということですが、帰りはどうなのでしょう？これが我が子なら？孫なら？と、当事者の立場になって早急な対応をお願いしたいと思います。

こういった細かいことにも気を配れる少子化対策が出来ることを期待します。

今後、高齢者単身世帯や高齢夫婦世帯が増加し、運転免許を返納される方も増えると思いますので、中央南周辺に買い物や医療、行政サービスなど生活に必要なすべての機能がコンパクトにまとまった町づくりを行っていただきたいと考えています。

広聴モニター懇話会

7月24日(月)、議会広報広聴モニター懇話会が開催されました。

モニターは、町内5地域から、それぞれ2名の方をお願いしています。

いただいたご意見を、今後の広報づくりに生かしてまいります。



広聴モニター懇話会(7月24日)

モニターのみなさま

- 河合恵美子 (川西)
 - 坂本 洋子 (吉井)
 - 山本ひろ子 (新町)
 - 田中 清美 (大波野中)
 - 平田 満雄 (瀬戸)
 - 坂本 友美 (砂田)
 - 榎松かおり (運輸)
 - 藤田 裕子 (浜城)
 - 田中 達夫 (尾津中)
 - 鶴谷 純一 (尾津東)
- (敬称略)

一期議員研修会

7月25日(火)、山口市のセントコア山口で開催された、一期議員研修会に参加しました。研修内容は「議会の権限と議員の役割」で、講師は、全国町村議会議長会議事調査部長の飯田厚氏でした。



一期議員研修会(7月25日)

「地方議会・議員の位置付け」では、憲法や地方自治法での法的根拠について、「議会と長との関係」では、長の再議権、不信任議決と解散、専決処分について等の説明をされました。

議員一期生として、「議会の権限と議員の役割」を再認識し、今後の議会活動に取り組みむべく、参加者全員熱心に話を聞いていました。

県町議会広報研修会

8月22日(火)、山口市のセントコア山口で開催された、町議会広報研修会に参加しました。研修内容は「読む！質す！生かす！」相違・熱意の取り組みに学ぶ」で、講師は、議会広報ファシリテーター、熊本大学客員教授の越地真一郎氏でした。



町村議会広報研修会(8月22日)

県内6町の議会広報を相互に講評し、各町の優れている点を評価・確認し、住民に伝わる議会広報とするための課題や改善案を協議しました。他町の広報では、表紙はカラーであったり、子どもを中心とした特集ページがあったり、紙面構成のアイデア等、参考となるものがたくさんありました。この研修を糧として、町民の皆さまに伝わる議会広報を目指し、広報委員一同決意を新たにしました。

町村議会広報クリニク

8月28日(月)、東京都の全国町村議員会館で開催された町村議会広報クリニクに、高月、河内、落合の3名が参加しました。

広報アナリストの吉村潔氏から「議会を身近にする広報紙づくり」と題する講演で「読みやすく わかりやすい 広報紙のヒント」

「議会広報ここに注目！」を学びました。その後、全国から応募された8町議会の広報紙のクリニクを通じて「すぐれた点」「チェックポイント」を教わりました。

すぐれた例を参考に、これからの紙面づくりに生かします。



町村議会広報クリニク(8月28日)

視察研修で来町

平生町議会

9月19日(火)に平生町議会産業文教常任委員会委員6名が来町されました。

研修では「田布施町学校給食センターの概要及び業務について」担当者から説明を受けられた後、施設を見学されました。



研修の様子



調理場を見学

平生町は、田布施町との学校給食共同調理事業を考えており、積極的に質問され、理解を深めておられました。

また、視察研修後、平生町に戻られ、給食の試食もされました。

議員の活動報告 (7月~9月)

- 7月4日 県町議会議長会7月定例会(議長)
 県離島振興市町議会議長会第1回臨時会(議長)
- 6日 県東部高速交通体系整備促進協議会(議長)
- 12日 県東部高速交通体系整備促進協議会(副議長)
- 20日 第2回光地区消防組合議会臨時会(西本)
- 21日 田布施・平生水道企業団議会定例会
(内山・落合・國本)
- 24日 議会広報広聴モニター懇話会(広報委員)
- 25日 一期議員研修会
(南・内山・伊村・落合・神田・高月)
- 31日 熊毛郡議会広報連絡協議会第28回定期総会
(高月・河内)

- 8月1日 熊毛郡町議会議長会定例会(議長)
- 22日 県町議会広報研修会(広報委員)
- 24日 第5回高校存続協議会(議長・副議長)
- 28日 町村議会広報クリニク(高月・河内・落合)
- 9月4日 「熊毛郡内の高等学校の存続を求める要望書」
 県教育長に提出(議長)
- 19日 平生町議会視察研修受け入れ(議長・総務文教委員長)
- 27日 柳井地域広域水道企業団議会第1回臨時会(落合)

議員リレー随筆

暑い夏



西本 篤史

「地球温暖化」聞きなれた言葉ですが、この夏は人類史上最も暑く、「地球沸騰化」の時代に突入したそうです。世界各地で洪水、山火事、大雨が起きました。

この夏はとにかく草の伸び様が速かったですね。私の家の草刈りは休耕田4反、灸川の法面150m、畔800mほど刈っています。一通り刈り終わったらまた伸びている。今後、冬が無くなると1年中草刈りをしなくてはいけなくなるかもしれません。困ったものです。草刈り機も進化していて電動式、ラジコン式など多彩である。将来ロボットが刈ってくれるかもしれません。待ち遠しい。

私の人生訓「誠真実を尽す」



谷村 善彦

昭和48年、世見産業(株)へ入社、全く経験のない営業を担当することになり、北は宮城県から南は熊本県と、お客様を平成10年定年退職するまで25年間訪問しました。先ず

は、お客様の信用を得るため、私の人生訓を貫き通すことにしました。嘘をつかないこと、騙さないこと、裏切らないこと、曖昧な返事はしないこと。お客様の立場に立ち、誠真実を通してきました。政治についても同じだと思います。私は議員というより「地域のお世話係」として、30年間人生訓を貫いてきました。間違っていないかったと自負しています。

発見!クイズたぶせ?

三択クイズです。2問お答えください。

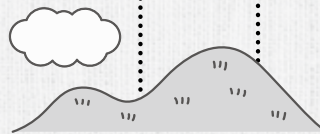
問1 令和4年度一般会計の歳入金額は約何億円でしょうか。



- ① 71億円
- ② 77億円
- ③ 83億円

問2 馬島にある山の名前は何か。

- ① 行者山
- ② 要害山
- ③ 石城山



ヒント 答えは、議会だよりの文章の中に書かれていますよ。探してみてください!

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。

- 宛先 〒742-1592 山口県熊毛郡田布施町 大字下田布施3440-1 田布施町議会事務局 宛
 - 応募締め切り 令和5年11月30日(木)
 - Eメールからもご応募できます gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp
- 正解の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお送りします。
なお、正解者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

※前号の正解は 問1 ② 250本 問2 ② きららでした。

編集後記

小学生の頃の楽しみは、日曜日に発売される週刊少年ジャンプを朝一番で買いに行くことでした。誰よりも早く手に入れたいため、開店直後の近所の本屋さんへ猛ダッシュ。大好きな漫画を隅から隅まで一字一句漏らさず読み尽くしたものでした。本編以外の編集後記も当時は訳も分からず読んでいた記憶があります。さて、議会だよりも町民の皆さまに隅から隅まで読んでいただけ、伝わる広報紙を目指し取りくんでまいります。町のこと、議会のこと様々なることを皆さまに分かりやすく伝えることを常に心がけて。
(内山)

- 議会広報委員会
- 委員長 高月 義夫
 - 副委員長 河内 賀寿
 - 委員 谷村 善彦
 - 委員 國本 悦郎
 - 委員 内山 昌晃
 - 委員 落合 祥二

